

NEWS RELEASE

2022 年 8 月 10 日

報道関係各位

血液凝固第Ⅷ因子製剤の世界血友病連盟への寄付について

一般社団法人 日本血液製剤機構（本社：東京都港区、理事長：石川 隆英、以下、JB）は世界血友病連盟（WFH）の人道支援プログラム※¹に参加することとし、血友病 A※²の治療に使われる血液凝固第Ⅷ因子製剤（血漿由来）を無償提供することといたしましたので、お知らせいたします。

2022 年度は最大 180 万単位寄付することを予定しています。

JB は、WFH の「全ての人に治療を」という理念に賛同し、SDGs（持続可能な開発目標）への取組みの一環として WFH 人道支援プログラムに血液凝固第Ⅷ因子製剤を寄付し、治療機会に恵まれない国の血友病 A 患者の治療に貢献します。

WFH は 1963 年設立以来、血友病、フォン・ヴィレブランド病、遺伝性出血性疾患等の患者さんの治療維持向上に関して、世界的なリーダーシップを発揮しており、現在 147 カ国の患者団体のネットワークをもつ世界保健機関（WHO）公認の非営利組織です。1996 年に始まった WFH 人道支援プログラムは、出血性疾患の種類や性別、居住地にかかわらず、安全な治療とケアを確実に受けられるようにすることで、開発途上国における医療アクセス不足を改善することを目的としています。

JB はこれからも国内の安定供給を最優先とし、善意の献血による血液製剤を通じ、高い倫理観と使命感をもって人びとの健康に貢献いたします。

※¹ WFH 人道支援プログラムについて: WFH 人道支援プログラムは、発展途上国の遺伝性出血性疾患の患者に必要な支援を提供することで、ケアと治療へのアクセスの欠如を改善します。より予測可能で持続可能な人道支援寄付の流れを患者に提供することで、WFH 人道支援プログラムは、患者が一貫して信頼できる治療とケアへのアクセスを受けることを可能にするものです。創設者の Sanofi 及び Sobi、ビジョナリーコントリビューターの Bayer、Roche 及び CSL Behring、リーダーシップコントリビューターの Grifols、そしてコントリビューターの武田薬品の寛大な支援なしでは不可能です。WFH と WFH USA は、WFH 人道支援プログラムを共同で管理・運営しています。WFH 人道支援プログラムの詳細については、www.treatmentforall.org をご覧ください。

※² 血友病 A は、止血に必要な血液凝固第Ⅷ因子の欠乏または機能異常に起因する遺伝性出血性疾患です。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 日本血液製剤機構 総務部 総務・法務課 TEL:03-6435-6500